

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
理事長	山下 静也
診療局参与	永井 義幸
部 長 兼心臓・血管センター副センター長	習田 龍
部 長 兼りんくうウェルネスケア研究センター長 兼健康管理センター副センター長 兼認知症ケアセンター長兼産業医	増田 大作
副部長	玉置 俊介
医 長	村木 良輔
医 長	正木 豪
医 長	義間 昌平
副医長	阿部 誠
非常勤医員	迫 恒志
非常勤医員	小山 訓
非常勤医員	板持 秀晃

—概要—

当院は、救命救急センター、母子医療センター、感染症センターなどの高度医療センターが集積する三次救急医療センターである。当循環器内科では、循環器領域の知識のみならず、他科に関連した総合的な幅広い領域の知識が要求され、日々、各センターから、救急、重症、特殊病態の症例を紹介頂き、他科と協調して診療にあたっている。

—実績—

心臓カテーテル検査	976 件
冠動脈カテーテル治療	426 件
急性冠症候群	147 件
急性心筋梗塞	87 件
経静脈ペースメーカー	64 件
リードレスペースメーカー	15 件
植え込み型除細動器 (ICD)	7 件
両室ペースメーカー (CRT-P)	0 件
除細動機能付両室ペースメーカー (CRT-D)	9 件
カテーテルアブレーション	121 件
末梢動脈カテーテル治療	60 件
冠動脈CT検査	766 件
経胸壁心臓エコー検査	5,941 件
経食道心臓エコー検査	165 件
心臓核医学検査	246 件
血管内超音波検査	468 件

(2022/1/1～2022/12/31)

—今年度の成果と反省点—

- 今年度もCOVID-19への感染予防対策を適切に行いつつ、例年どおり循環器診療を行い地域医療に貢献した。
- 昨年度に比し大幅な人員増があり、比較的余裕をもって循環器診療にあたることができた。
- 今年度は、残念ながらCOVID-19による循環器病棟クラスターに複数回見舞われたが、医師、コメディカル丸とな

って泉州地区の循環器診療の維持、継続に寄与できた。

- 冠動脈カテーテル治療(PCI)、末梢動脈カテーテル治療(EVT)、ペースメーカー、不整脈アブレーション(ABL)など侵襲的治療を積極的に行い、いずれもこの数年における最高件数を記録することができた。
- 三次救急重症循環器疾患に対して、高度画像診断機器(320列CT:2台、80列CT:1台、3Tと1.5TのMRI、放射線アイソトプ)を多数保有している当院の利点を最大に生かし、速やかに診断と治療に結びつけることができた。
- COVID-19蔓延の状態にはあったが、例年どおり、国内、国外の学会に臨床研究に関する報告を多数行った。中でも玉置医師は、欧州心臓病学会にオンサイトで参加し、当院での臨床研究の成果を世界に知らしめた。また、多数の英文原著論文・総説を著名雑誌に報告し、Rinku General Medical Centerの名を世界に広めることができた。
- 山下理事長の専門領域である脂質異常症とそれに関連する治療困難例など多数の患者を地域の健康診断及び他院から御紹介いただき、適切な診断と治療介入を行うことで地域医療及び予防に貢献した。

—来年度への抱負—

引き続きCOVID-19に対する感染予防対策を十分に行い、重症三次救急例や(近隣の)病診連携医からの紹介例に適切に対応し、侵襲的治療件数をさらに伸ばすべく尽力したい。

